

令和2年度生徒指導集中対策，生徒指導実践指定校及び不登校等未然防止推進校

「指定校における取組事例」

学校名	廿日市市立廿日市小学校	校長	北川 千幸	担当者名	向井 千代子
-----	-------------	----	-------	------	--------

取組事例名		『 気持ちのよいあいさつを広げよう 』	
○	生徒指導に係る連携体制の確立	○	主体的な活動を通じた絆づくり

取組における育てたい資質・能力

表現力 主体性 自己有用感

取組のねらい

- ・気持ちのよいあいさつを意識させることにより温かい人間関係や児童同士の絆を育む。
- ・あいさつがよくてできる児童を承認したり写真や放送で紹介したりすることにより，自己肯定感を育む。
- ・取組を推進した生活美化委員児童を承認することにより，自己有用感を育む。
- ・あいさつ週間の取組により，よりよいあいさつを強化し，習慣化につなげる。

取組の具体的内容

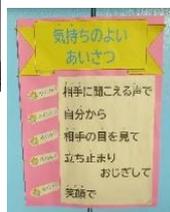
取組の創意工夫

- 〈10月末～11月〉あいさつに関する学校評価アンケートの結果を教職員に提示し，「あいさつの取組」について学年会で考え，生徒指導部で集約する。
- 〈12月〉児童用「生徒指導だより」にて，あいさつの様子やアンケート結果を提示し，自分のあいさつを振り返らせる。
- 〈12月～1月〉児童主体の取組にするため，生活美化委員会で取組内容の決定・取組準備（動画作成・名人カード作成等）を行う。

- ・教職員が課題意識や共通認識をもって取り組めるよう学年会を活用した。
- ・アンケート結果を提示し「相手に伝わるあいさつになっていない」ことに気付かせた。
- ・児童に主体をもたせながら，教職員からのアイデアも提示した。

【生活美化委員会を中心とした取組内容】

- ① 各クラスで動画を見て，気持ちのよいあいさつとはどんなあいさつか考える。
- ② 1月の生活目標に対するクラスの取組を考える。
- ③ 生活美化委員会によるあいさつ週間の呼びかけ
- ④ あいさつ週間（1月18日～29日）
 - ・教職員等によるあいさつ名人カードの配付
 - ・あいさつ名人の写真撮影→掲示
- ⑤ 地域の見守り隊との連携
- ⑥ あいさつ週間の振り返り（個人・生活目標）
- ⑦ 放送によるあいさつ名人の紹介・クラスの取組の紹介
- ⑧ 放送による「あいさつ週間の振り返り」の感想紹介
- ⑨ 3月，生活目標「あいさつでありがとうを伝えよう」の実施



- ・生活美化委員会作成の動画を視聴させることにより，目標にしたい「よりよいあいさつ」を明確にした。
- ・児童個人にもクラスにも目標をもたせた。
- ・児童に関わる全ての職員（約60人）で児童を承認する活動を行った。
- ・地域の方へも協力を依頼した。
- ・自分や友達のがんばりに気付かせた。
- ・放送による「あいさつ名人」の紹介等を委員会児童に任せ，活躍の場を与えた。
- ・取組効果の検証を行う。



取組の成果と課題

- 1学期末の学校評価アンケートの結果によると，「あいさつがよくてできている」と回答した児童は91.5%であったが，保護者(72%)教職員(68%)は低い状態であった。この結果を受け，児童が主体となる取組を工夫して行った結果，あいさつ週間終了後も気持ちのよいあいさつをする児童が多く，2月下旬に「あいさつがよくてできている」と感じる教職員は86%と向上した。
- 多くの教職員からの肯定的評価により自信をもってあいさつをする姿が見られるなど児童の自己肯定感・有用感が育った。
- 教職員自身が，課題意識と共通認識をもって全員で取り組むことや児童を主体とした活動の有効性を感じることができた。